

## 令和7年度の学校評価結果における、生徒、保護者、教職員それぞれの主な特徴

### 1. 生徒による評価の特徴

生徒の全体的な満足度は高く、「学校は楽しく、本校に入学して良かった」と回答した生徒は94%（「そう思う」57%、「やや思う」37%）に達しています。

- 学校生活・行事への高い評価：商工祭や体育祭などの学校行事を「楽しい」と感じている生徒は91%に上ります。
- 資格取得と進路支援：放課後講座や補習を通じた資格取得支援に対し、88%が肯定的です。また、進路相談や三者面談などの早期決定への取り組みも高く評価されています。
- 健康・安全への意識：特に「飲酒・禁煙・エイズ・薬物乱用防止指導」への評価が「そう思う」63%と、項目の中で最も高くなっています。
- 課題：「家庭で学校の出来事や将来のことをよく話し合う」という項目は、他の項目に比べて「そう思う」が36%と低めです。

### 2. 保護者による評価の特徴

保護者の満足度（他者への推奨度）は平均7.36点（10点満点）で、前年度の7.34点から微増しています。

- 情報発信と連携：アプリ（スクリレ）の活用や子供を介した学校からの連絡が確実に届いていることに対し、92%（「そう思う」66%、「やや思う」26%）が肯定的に評価しています。
- 開かれた学校づくり：PTA活動への積極的・協力的な姿勢については、「そう思う」が73%と極めて高い評価を得ています。
- 環境整備：ゴミの分別や清掃、施設の整備に関しても93%が肯定的な評価を示しています。

### 3. 教職員による自己評価の特徴

教職員は教育目標の達成や専門的な指導に高い意識を持っていますが、自身の働き方には課題を感じている傾向があります。

- 指導面での自信：「性・エイズ・薬物乱用防止への指導」については100%（「そう思う」85%、「やや思う」15%）が肯定的です。また、資格取得への意欲向上（96%肯定）や、いじめの未然防止・早期発見（98%肯定）にも強い自信を持っています。
- 教育目標の浸透：「職員は教育目標を意識して教育実践に取り組んでいる」という項目に対し、72%が「そう思う」と回答しています。
- 働き方の課題：他の項目に比べ、「個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保」については「そう思う」が31%にとどまり、「あまり思わない」との回答も19%見られるなど、負担感が伺えます。

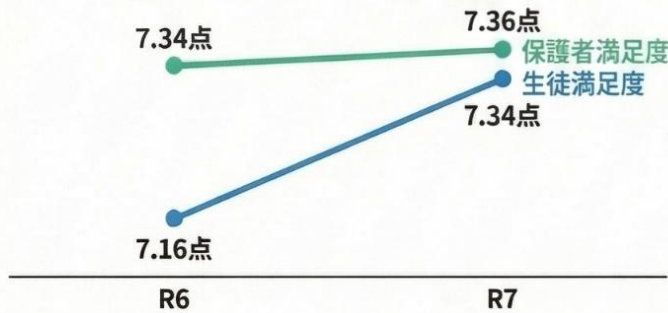
### 共通する傾向

- 満足度の向上：生徒（7.34点）と保護者（7.36点）の満足度はともに前年度から向上しており、学校全体として良好な評価を得ています。
- 強み：資格取得などの実務的な指導や、薬物乱用防止などの健康・安全教育は、三者すべてから非常に高く評価されている共通の強みと言えます。
- 今後の課題：教職員の専門性向上やICTを活用した授業改善、働き方改革を通じたゆとりある時間の確保などが、令和7年度の課題として挙げられています。

# 令和7年度 学校評価結果報告： 共に歩む「八重商工」の現在と未来

## 満足度の推移と全体概況

生徒・保護者ともに満足度が上昇



確実な情報伝達の実現：  
デジタル連絡ツール「スクリレ」  
の活用により、保護者への連絡  
(66%)や学校からの情報発信  
が円滑化されました。

## 全ての関係者が認める「本校の強み」

圧倒的な評価を得る  
「健康安全教育」  
(そう思う)



キャリア形成を支える  
「資格取得支援」  
(そう思う)



## 各ステークホルダーの視点（特徴的な項目）

【生徒】



学校行事への  
高い熱量



商工祭、文化祭、体育祭などの  
行事を「流しい」と感じている  
生徒は91%（そう思う59%+や  
や思う33%）に達します。

【保護者】



PTA活動への  
積極的な参画



PTA活動への積極的・協力的な  
姿勢については、73%の保護者が  
「そう思う」と回答し、学校運営  
への強い協力体勢が示されました。

【教職員】



働き方改革に  
大きな課題



教育目標への意識（72%）が高い  
一方で、「個人の裁量（ゆとり）あ  
る時間の確保」は31%と低く、職  
場環境の改善が求められています。

## 令和8年度に向けた改善の方向性

ICTとAIの活用による校務効率化



教職員のゆとり確保のため、AI支  
援員による研修やTeamsの活用、  
デジタルツールの利用を推進しま  
す。

生徒の主体性の尊重と連携強化



生徒会やリーダーを中心とした自治  
活動の推進と、スクリレを通じた  
家庭・地域とのさらなる連携を目指  
します。